

7年総合的な学習の時間  
郷土学習「未来につながる農業」

【学習のめあて】

- ◇地元を中心に未来につながる農業に従事されている方々からお話を聞いたり、企業を訪問したりする活動を通して、農業経営について学び、農業に興味をもつとともに、自己の生き方を考えるきっかけとする。
- ◇再発見した地域の魅力を、整理・分析し、表現する。

【学習の流れ】

1 学習のはじめに

- ・豊後大野市の農業について知っていることを確認する
- ・豊後大野市で農業に携わるという「未来」について今、どう考えるか、自分なりの意見をもつ

2 豊後大野市関係人口交流拠点施設 **cocomio**を訪問する

- ・豊後大野市の課題を知る
- ・「関係人口」と「仕事」をキーワードに取組を進めているcocomioに関わる人の職業を知る

3 農業経営者に学ぶ

(1) ゲストティーチャーの講話を聞く

- ・県内でタレントとしても活躍している**森祐作さん**から  
農業経営を始めたきっかけや理由、農業の魅力について話を聞く
- ・対話形式で、今、各自が考えている「将来の夢」について語り合う



(2) 「リアライズ」訪問

- ・宮崎県からやってきて緒方町で起業された**鈴木薫さん**の取組を聞く
- ・ビニールハウスで**有機ベビーリーフの収穫体験**をする



昼食は朝地牛とリアライズの野菜を使ったメンチカツバーガー

(3) 「合同会社 朝地牛」の牧場訪問

- ・生産されなくなっていた豊後大野市のブランド「朝地牛」を復活させた  
畜産農家で、閉店していた精肉店を復活させた起業家、**羽田野利夏さん**  
の取組を聞く
- ・畜産農家のお仕事体験をする



#### 4 学んだこと・考えたことをまとめること(期末懇談会の日に学習発表会)

- ・農業経営者の方から学んだこと
- ・再発見した豊後大野市の魅力

#### 学習の振り返り



◇郷土学習をする前の農業のイメージは、儲からなさそう・大変そう・きつそう・暑そう・寒そうなどだったけど、郷土学習をして、農業に対するイメージが変わりました。農業はちゃんと儲かっていたり、そこまで大変ではなかったりしたことが分かりました。森祐作さんや鈴木さんの話を聞いて、農業に少し興味をもちました。（後略）（森 結佳さん）

◇cocomioやいろんな所に行ってから、農業に少し興味が湧きました。中でも僕が印象に残ったのは朝地牛です。たくさんの牛が飼育されていたから、すごいと思いました。僕も少しやってみたいと思いました。興味が湧いたのでよかったです。

（甲斐 大翔さん）

◇私がこの郷土学習を通して学んだことは見た目で決めるのではなく、中身をしっかりと知ることが大事だということです。森祐作さんの話では、農業が大変だと思っていたけれど、自分で仕事のやり方を変えれば仕事がもっと楽しくなると知ることができました。鈴木さんの話では、工夫して野菜を売ることで他よりも売れるし、自分でも楽しく売れて、祐作さんと同じように仕事が楽しくなるということがわかりました。（後略）（山本 千陽さん）

